

音モダチ・プロジェクト 被災地応援活動

2015/4/4-8

今回の活動は福島県南相馬市・郡山市、宮城県気仙沼市、岩手県陸前高田市・大船渡市で行わせていただきました。

はじめの2日間はコーラスグループ歌謡隊の皆さんも一緒です。

3月に開通になったばかりの常磐道を通り、南相馬まで来ました。常磐道には線量計が設置され、今通っているここがどれくらいの線量があるのかということを見ながら通過します。原発近くの富岡町付近は極端に上がっていました。改めて、そういう地域なのだということを認識しました。道路脇には除染され詰められた袋がいたる所に並べられていました。

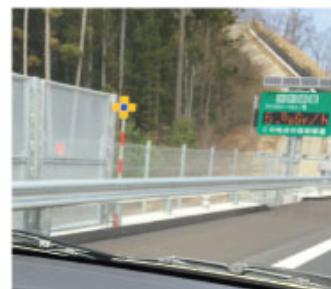
1日目は福島県の南相馬市内で帰宅困難地域の方が避難されている、同市内の仮設住宅や借り上げ住宅の方々が集われているところで演奏させていただきました。介護保険のデイサービスに通うほどの介護度ではないけれど高齢者の方々が引きこもりにならないようにと社会福祉協議会が主催をし、週1回送迎をして開催しているというデイサービスです。

懐メロからジャズコーラス、ロシア民謡などなどお送りさせていただきました。

みなさんが笑顔で私たちを迎えてくださり、喜んでいただけたこと、本当に嬉しかったです。このところは県外からボランティアが来ることはめっきり少なくなったと言われていました。

演奏後はいわきの宿まで国道6号線を通って来ました。鹿島の一本松、帰還困難区域、歩行者・二輪車は通行不可のところ、福島第一原発の側も通りました。自分の家やお店にはバリケードがはられ、自由に出入りすることもできません。

脇道には軽装の警備員が立っていて進入禁止になっています。誰も住むことのできない街を通り、苦しく、切なく、哀しく、そしてここに住んでいらした方々のことを思うと本当にいたたまれない想いが込み上げてきました。



ここは5.5マイクロシーベルト/h



南相馬・かしまの一本松の前で



歌謡隊のコーラスも盛り上がりしました

2日目は福島県富岡町の方々が避難されている郡山市内の緑ヶ丘応急仮設住宅集会所にて演奏させていただきました。こちらには今回で4回目の訪問となり、何度もお見かけしているお顔もあり、演奏前から声をかけてくださっていました。

前日に富岡町を通過してきたこともお話をさせていただき、あの辺りに住まわれていたことを思うと改めて、大変お辛い思いをされているのに、明るく努められ皆さんで支えあって過ごされていること、お心を思うと計り知れません。

歌に涙されたり、一緒に口ずさんでくださったり、手拍子頂いたり、私たちの音楽を喜んでくださいました。

歌謡隊(うたうたい)のメンバーの中には初めて東北を訪れたという者もあり、今まで知らなかったこと、遠いところのことだと思っていたことも、改めて自分自身のこととして受け止められたと言っていた者もありました。

郡山駅で歌謡隊のメンバーと別れ、以降はお洒落倶楽部での活動となりました。

3日目。気仙沼の障がい児施設のマザーズホームさんにて演奏させていただきました。昨年の4月にもお伺いさせていただき、2回目の訪問です。お隣の作業所の方もいらして下さり、一緒に楽しんでくださいました。

コンサート後に管理者の方々とお話をさせていただきました。

当時のことや今の心情をお話くださいました。震災以降、人の役に立ちたいという想いが、より強くなったとお話し下さいました。また、3年目はしんどく一番つらかった、でも四年目になってから前を向くことができるようになったとおっしゃられていました。皆さん何と強いのでしょうか…

コンサートの前に気仙沼市内の復興国立公園の岩井崎へ行くことができました。波の吹き上げる潮吹き岩があります。こちらも地盤沈下のせいで潮吹きが波の高い時でないとなかなか見られなくなり、その高さも低くなってしまったということです。そのすぐ近くに江戸時代の気仙沼出身の横綱の銅像が立っていました。津波にも負けずにのこった、のこった、という横綱です。そして龍のような形に残った「龍の松」も見ることができました。この辺りもたくさんの松に囲まれたところだったそうです。



マザーズホームさんの園舎です



岩井崎 太平洋を望む 横綱・秀ノ山の像 と 龍の松

活動最終日は朝、午前、午後の3回転コンサートです。

朝の8:30から陸前高田市役所の会議室にて、お昼前に大船渡市の永沢仮設住宅の集会所にて、午後は陸前高田市の東部デイサービスセンターにて演奏させていただきました。

陸前高田市役所では市長、副市長をはじめ職員の方に被災地の方からいただいたメッセージの曲をお届けいたしました。私たちの活動も改めて知っていただくことができました。今度はもっと沢山の人達にも聴いてもらえるようにしたい、とおっしゃってくださいました。市役所の方々はご自身も被災者でありながらも、ずっと市民のために尽力され、共に働かれていた同僚を沢山亡くされ、ご家族や身内の方を亡くされていたりと、辛い思いをされてこられた方ばかりだと思います。ご自分が辛いということも口にできずにいらっしまったのではないのでしょうか。



陸前高田市長はじめ市役所の皆様と

お昼前の大船渡の永沢仮設住宅にも何度とお伺いさせていただいていました。こちらは中学校のグラウンドにある仮設のため、来年早々には撤去予定であるため、皆さん復興住宅やまた他の仮設へ転居することになります。世話役をされている平山さんは今までに詩を3篇書いてくださっており、歌わせていただいています。平山さんの詩の曲も演奏させていただき、いらしてくださっていた皆さんも涙を流されていました。

平山さんの詩の「復興」には

全てを失ったことで様々なものを失う恐怖より解放され生きるのが楽になったと書かれています。そして

破水して母親から生まれてきたように・・・

また新たに生まれたように生きていこう、と、強く訴えられています。



永沢仮設の皆さんとお茶っです

午後は6度目の訪問になった東部デイサービスでのコンサートでした。

陸前高田の皆さんと親しくさせていただけるようになったのも

こちらでの出逢いがあったからです。

「津波のこと」を作詞くださった戸羽さんにもお目にかかることができました。

職員の皆様の暖かさ、ご利用の方々の楽しまれている様子に触れられ、感激でした。

前の晩から沢山お世話になり、こんなに歓迎を受け、私たちは幸せであり

みなさんにも幸せであって欲しいと切に願います。



戸羽さんとの再会です

どちらもコンサートの最後には「幸福になるための歌」を歌いました。

幸せになれる、幸せになれる きみは必ず・・・

という歌詞に、私も幸せになれるんですね…と涙ぐみながらおっしゃられていた言葉が胸に刺さりしました。

今回の活動もとても意義深く、沢山の経験をし、様々なことを考えさせていただきました。ありがとうございました。

<セットリスト>

4/4	4/5	4/6	4/7	4/7	4/7
南相馬いきいきデイ	緑ヶ丘仮設集会所	マザーズホーム	陸前高田市役所	永沢仮設集会所	東部デイサービス
埴生の宿	埴生の宿	世界でひとりの君と僕	見えないもの	世界でひとりの君と僕	高原列車は行く
高原列車は行く	高原列車は行く	森のくまさん	津波のこと	ふるさは今もかわらず	北国の春
牧場の朝	富岡わがまち	あらどこだ	海をこよなく愛した父	川の流れるように	ふるさは今もかわらず
リパブリック賛歌	リパブリック賛歌	春のメドレー	復興	さくら咲きさくら散る	山寺の和尚さん
明日へ輝く日	明日へ輝く日	線路は続くよどこまでも	祈り	ランドセル	奇跡の一本松の歌
Mr. サンドマン	Mr. サンドマン	ロシア民謡メドレー	幸福になるための歌	旅立つ君へ	津波のこと
ヴォルガの舟歌	ヴォルガの舟歌	祈り		復興	祈り
最上川舟歌	最上川舟歌	ともだちだよ		祈り	懐メロヒットメドレー
カリンカ	カリンカ	山寺の和尚さん		北国の春	最上川舟歌
懐メロヒットメドレー	懐メロヒットメドレー	幸福になるための歌		懐メロヒットメドレー	からたちの花
山寺の和尚さん	山寺の和尚さん			幸福になるための歌	この道
春が来た	春が来た				幸福になるための歌